



PAR Clearオペレーションマニュアル

目次

概要.....	4
安全情報.....	4
安全規則.....	4
使用目的.....	4
シグナルワード.....	4
システム警告.....	4
その他の規則.....	5
FCCおよびIndustry Canadaに関する情報.....	5
ヘッドセットの使用.....	7
バッテリーの充電と使用.....	7
ヘッドセットの登録.....	9
ヘッドセットの登録解除.....	9
ヘッドセットシリアル番号の確認.....	9
ヘッドセットの操作.....	11
注文受付のセットアップ.....	12
注文受付モードの変更:.....	12
音量設定の変更.....	12
インバウンドヘッドセット音量.....	12
アウトバウンドレーン音量.....	12
ClearヘッドセットとG5ヘッドセットの比較.....	13
Clearの新機能.....	13
外観上の違い.....	13
シリアル番号の範囲:.....	13
ライト表示の違い.....	14
現在の機能の違い.....	14
クロスモード、待機時.....	14
クロスモードで、レーンに車両がある状態で呼び出しボタンを押した場合.....	14
スプリットモードで、レーンに車両がある状態で呼び出しボタンを押した場合.....	14
待機中、検知車両なしでトークボタンを押した場合.....	14
待機中、ユーザーが呼び出しコールを開始した場合.....	14
コマンドコンソールの使用.....	15
ログイン.....	15
日付／時刻の調整.....	15
ヘッドセットの使用.....	16

ヘッドセットの詳細	16
ヘッドセット音量の調整	16
車両アラート音量の調整	16
案内メッセージ音量の調整	16
アラートメッセージ音量の調整	16
リマインダーメッセージ音量の調整	16
注文ポイントのマイク音量調整(顧客の声)	16
ヘッドセットの追加	16
注文受付モード	17
割り当てレーンの編集	17
スプリットモードとクロスモード	17
LAIの使用	18
音量調整	18
昼間スピーカー音量	18
夜間スピーカー音量	18
スピーカー出力音量(注文受付者)	18
案内メッセージ相対音量	18
Drive-Thru Cloud Portalの利用	19
ユーザーメニュー	19
クラウドダッシュボードの表示	19
ユーザー画面	20
ユーザーの追加	20
ユーザーの削除／編集	20
組織画面	20
組織の追加	20
組織の削除／編集	20
デバイス画面	20
デバイスの編集/設定	20
サイトの設定	21
ネットワーク設定	21
注文受付	21
デジタル(入出力)	23
メッセージング	24
音量とデバイス	25
システム設定	29
トラブルシューティング	30
改訂履歴	42

概要

安全情報

安全規則

本書に記載された安全に関するすべての情報をよく読み、理解し、遵守したうえで、PAR Clear Drive Thru通信システムおよびそのコンポーネントを設置・操作してください。ここに記載された手順に従わない場合、感電、火災、および／またはその他の人身事故を引き起こすおそれがあります。本書は将来の参照のために保管しておいてください。

使用目的

PAR Clearドライブスルー通信システムおよびそのコンポーネントは、クイックサービスのドライブスルーレストランやコンビニエンスストアにおいて、双方向の無線音声通信を提供するために使用されることを目的としています。本システムはPAR認定サービス担当者による専門的な設置のみを必要とし、クイックサービスのドライブスルーレストランおよびコンビニエンスストアにおいて、PAR Clear Drive Thru通信システム設置手順書に従って設置され、PAR Clearドライブスルー通信システム取扱説明書に従って操作されなければなりません。その他の用途や場所での使用については評価されていません。

シグナルワード



警告

回避しない場合、死亡または重傷、および／または物的損害につながるおそれのある潜在的に危険な状況を示します。



注意

回避しない場合、軽傷または中程度の傷害、および／または物的損害につながるおそれのある潜在的に危険な状況を示します。

①重要な注意事項

回避しない場合、物的損害につながるおそれのある潜在的に危険な状況を示します。「重要な注意事項」に記載されている情報には十分にご留意いただくことを強く推奨します。

システム警告



警告

危険な電圧に関連するリスクを低減するために：

- ベースステーションの電源を設置または取り外す前に、必ずコンセントの電源を切ってください。コンセントカバーのねじを外す際、カバーがプラグピンに落下したり、コンセントが外れたりする場合があります。中央にねじの付いた2口コンセントでのみ使用してください。ユニットはコンセントカバーのねじで確実に固定してください。

- 電源に接地ピンが備わっている場合は、直接接地コンセント(3ピン)に接続してください。
- 電源コードまたは筐体が破損している場合は、PAR Clear Drive Thru通信システムおよびそのコンポーネントを使用しないでください。
- 電源装置は屋内かつ乾燥した場所でのみ使用してください。



警告

火災、爆発および物的損害に関連するリスクを低減するために：

- バッテリーが熱を帯びる、色や形が変化する、異臭を発する、その他の異常または損傷が見られる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 55°C/130°F を超える熱にさらしたり、バッテリーを開封、分解、穴あけ、ひび割れさせる、押しつぶす、焼却するなどの行為は行わないでください。
- バッテリーを金属製品と一緒に保管または携帯しないでください。バッテリーは涼しく、乾燥した清潔な場所に保管してください。
- バッテリー、バッテリー充電器、電源装置、その他すべてのシステムコンポーネントは、必ずPARが承認した本システムに使用可能なユニットと交換してください。バッテリーを交換する際は、必ずPAR専用のモデルバッテリーを使用してください。他のバッテリーを使用すると、火災や爆発の危険が生じる可能性があります。
- バッテリーを水やその他の液体に浸さないでください。

- 損傷や異常が見られる場合は使用を中止してください。定期的にバッテリーの外観を点検し、形状や色の変化などの損傷や異常がないか確認してください。
- PARドライブスルーヘッドセット用の12スロットバッテリー充電器およびPAR Drive Thruヘッドセット充電ステーションには、追加の充電器を接続するための2つの電源接続口が付属しています。設置時には、1つの充電器または相互接続された一連の充電器に対して、複数の電源を接続しないでください。
- このPAR Clear Drive Thru通信システムおよびそのコンポーネントを改造しないでください。
- 追加の充電方法や使用方法については、設置ガイドおよび操作ガイドをご参照ください。

注意

バッテリーパックによる環境汚染に関連するリスクを低減するために:

- バッテリー、電源装置、バッテリー充電器およびベースステーションは、国、州／都道府県、および地域の要件に従って廃棄してください。希望される場合は、これらの部品をPARサービスセンターに返送し、リサイクルすることもできます。
- 多くの充電式バッテリーは、地域、州／都道府県、および国の法律によりリサイクルが義務付けられています。バッテリーまたはバッテリーパックを適切にリサイクル／廃棄するには、必ず地域の一般廃棄物処理規則に従ってください。米国およびカナダでは、PARはCall2Recycle (RBRC) と提携し、製品に含まれる充電式バッテリーが適切にリサイクルされるよう、リサイクルサービスを提供しています。このサービスの利用については、Call2Recycleバッテリーリサイクル情報ヘルプライン1-800-8-BATTERY (1-800-822-8837) にお電話いただくか、ウェブサイト(www.call2recycle.org)でCall2Recycleのバッテリーリサイクルガイダンスをご参照ください。

その他の規則

FCCおよびIndustry Canadaに関する情報

①重要な注意事項

FCC RF曝露に関する声明:

PAR Clear Drive Thru通信システムおよびそのコンポーネントは、非管理環境に対して定められたFCCのRF放射曝露制限に準拠しています。これは、平均出力に基づいて動作し、デューティサイクルが7.63%を超えず、25mmの離隔距離を確保して使用する場合に適用されます。本ワイヤレスシステムは、他のアンテナや送信機と同一の場所で設置したり、併用したりしてはなりません。

PAR Clear Drive Thru通信システムおよびそのコンポーネントは、FCCのRF放射曝露制限に準拠しています。本機器は、放射部と人体との間に少なくとも20cmの距離を確保して設置・使用してください。これには、PARが承認した外部アンテナも含まれます。

PAR Techが承認していないアクセサリ（バッテリー、アンテナ、壁用アダプター、充電器、イヤープッド、フォームチップ、コンバーチブルカバーなどが含まれますが、これらに限定されません）を使用すると、PAR Clear Drive Thru通信システムおよびそのコンポーネントの故障を引き起こす可能性があります。また、承認されていない電気アクセサリやアンテナを使用すると、RFエネルギー曝露ガイドラインを上回る可能性があります。

FCCによる規定:

本機器はテストの結果、FCC規則第15条に基づくClass Aデジタル機器の規定に適合していることが確認されています。これらの規定は、本機器を商業環境で運用する際に有害な干渉から合理的に保護することを目的としています。本機器は無線周波数エネルギーを発生、利用、放射することがあり、取扱説明書に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。本機器を住宅環境で使用すると有害な干渉を引き起こす可能性が高く、その場合、ユーザーは自己の負担で干渉を解消する必要があります。

カナダの規定: CAN ICES-3 A/NMB-3 A

本装置は、印刷日現在においてFCC規則第15条およびIndustry Canadaのライセンス免除規格RSS-210に準拠しています。操作は、次の2つの条件に従うものとします。(1) 本装置が干渉を発生することはありません。(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

FCCおよびIC識別子

PAR Clear ヘッドセット:

FCC ID: AVHPCH1

IC ID: 10329A-PCH1

PAR Clear トランシーバー:

FCC ID: AVHPCT1

IC ID: 10329A-PCT1

①重要な注意事項

本デバイスを改造する場合は、PAR Techの書面による同意が必要です。許可されていない改造を行った場合、本デバイスの運用を認める連邦通信規則およびカナダ規則に基づく権限が無効となる可能性があります。

リサイクル／廃棄について(欧州連合のお客様へのお知らせ)



これらの製品は、寿命を迎えた際に、関連する法律および規則に従って廃棄またはリサイクルする必要があります。



欧州連合(EU)の「電気電子機器廃棄物に関する指令(Directive 2012/19/EU)」に基づき、電気・電子機器製品は一般家庭廃棄物として廃棄することができなくなりました。また、対象となる電子機器の製造者は、製品が使用寿命を終えた際にそれらを回収する義務を負います。適切な廃棄およびリサイクル方法については、最寄りのPAR担当者にお問い合わせください。

ヘッドセットの使用

バッテリーの充電と使用

バッテリーを充電ステーションに挿入するか、ヘッドセット充電ステーションにヘッドセットを置いてください。



バッテリー充電器



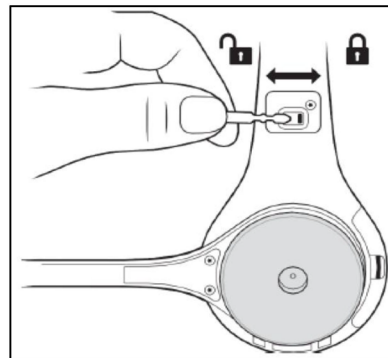
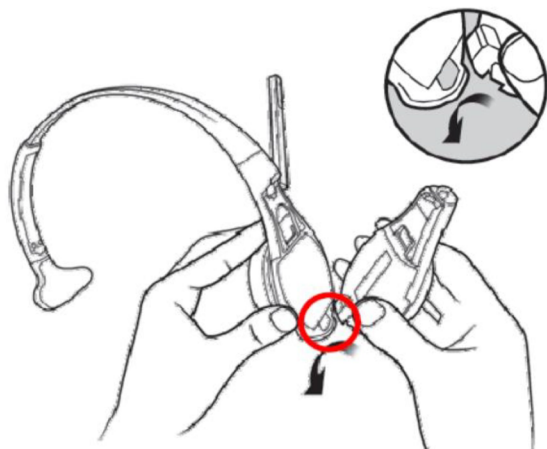
ヘッドセット充電ステーション

- バッテリーのLEDが緑色に点滅し、充電中であることを示します。
- すべてのLED 4灯が緑色で点灯(点滅ではなく点灯)した状態になると、バッテリーが完全に充電されたことを示します。

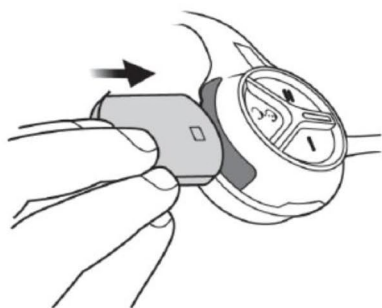
インジケーター	モードの説明
緑色の LED  1つ目の LED 4つ目の LED	PAR CLEAR バッテリー充電器からバッテリーが取り外あれ、ボタンが押し続けられています 各 LED が 25%の充電残量を表します。 バッテリーが完全に充電されると、4 灯すべての LED が緑色に点灯します。 上から順(左図を参照) 4 つの LED が連続して緑色に点灯している場合、充電残量が 75%~100%の間であることを示します 3 つの LED が連続して緑色に点灯している場合、充電残量が 50%~74%の間であることを示します 2 つの LED が緑色に点灯している場合、充電残量が 25%~49%の間であることを示します 1 つの LED が緑色に点灯している場合、充電残量が 0%~24%の間であることを示します
LED の 1 つが緑色で点滅している	バッテリーが充電器に装着され、現在充電中です 上から順: 1 つ目の LED が緑色に点滅 → バッテリー充電量 0~25% 2 つ目の LED が緑色に点滅 → バッテリー充電量 26~50% 3 つ目の LED が緑色に点滅 → バッテリー充電量 51~75% 4 つ目の LED が緑色に点滅 → バッテリー充電量 76~100%
一番上の LED と一番下の LED が緑色で点灯	バッテリーの寿命終了。 バッテリーを交換してください
一番下の LED が緑色に点滅 (バッテリーが充電器に装着されていない状態)	バッテリー残量が 5%未満に低下しています。 直ちに充電する必要があります。

バッテリーをヘッドセットに装着するには:

- CARRIERにPODを差し込み、ロックスイッチをスライドさせてヘッドセットを完成させます

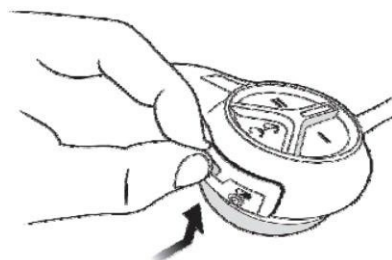


- 下記の図に示すとおり、充電済みバッテリーをスライドさせて装着します。



ヘッドセットからバッテリー取り外すには:

- 指でバッテリーラッチを軽く押し上げます。これでバッテリーが解除されます。
- その後、別の指でバッテリーをつまみ、バッテリー収納部から引き抜きます。



ヘッドセットの登録

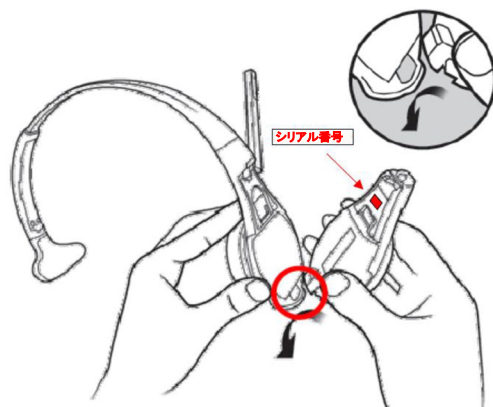
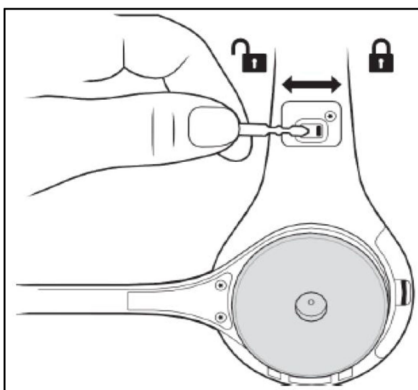
1. 充電済みバッテリーをヘッドセットに装着すると、自動的に電源が入ります。
2. 提供されたリンクと認証情報を使用して、ウェブページ／ポータルにログインします。左側のパネルから**[Devices(デバイス)]**を選択し、自分のベースステーションを選びます。**[Actions(アクション)]**の(...)アイコンをクリックし、**[Settings(設定)]**を選択します。**[Volume & Devices(音量&デバイス)]** > **[Connected Devices(接続済みのデバイス)]**セクションの順に進みます。**[Headsets(ヘッドセット)]**タブを選択し、**[+ Register Headsets(+ヘッドセットを登録)]**をクリックします。ポップアップウィンドウが開き、**[Waiting for Headsets(ヘッドセットを待機中)]**と表示されます。ウィンドウ内にヘッドセットIDが表示されます。すべてのヘッドセットが登録されたら、**[Close Registration Mode(登録モードを閉じる)]**をクリックします。
3. 登録が完了すると、PODとCARRIERのLEDが緑色に点灯し、「Lane 1」という音声メッセージが流れます。または、PODとCARRIERのLEDが赤/緑に点灯し、「Lane 2」という音声メッセージが流れます。

ヘッドセットの登録解除

1. 提供されたリンクと認証情報(または指定のボタン操作手順)を使って、ウェブページ／ポータルにログインします。左側のパネルから**[Devices(デバイス)]**を選択し、自分のベースステーションを選びます。**[Actions(アクション)]**の(...)アイコンをクリックし、**[Settings(設定)]**を選択します。**[Volume & Devices(音量&デバイス)]** > **[Connected Devices(接続済みのデバイス)]**セクションの順に進みます。**[Headsets(ヘッドセット)]**タブを選択し、登録解除したいヘッドセットの横にある**[Actions(アクション)]**の(...)アイコンをクリックします。**[De- Register(登録解除)]**を選択すると、確認メッセージが表示されます。**[Yes, De-register(はい、登録を解除します)]**を選択すると、そのヘッドセットの登録が解除されます。
2. クラウドからワンクリックですべてのヘッドセットを登録解除するオプションもあります。前のステップと同じ画面(**[Volume & Devices(音量&デバイス)]** > **[Connected Devices(接続済みのデバイス)]** > **[Headsets(ヘッドセット)]**)で、**[Clear All Registration(すべての登録をクリア)]**をクリックします。**[Yes, De-register(はい、登録を解除します)]**を確認すると、システムからすべてのヘッドセットの登録が解除されます。

ヘッドセットシリアル番号の確認

1. ヘッドセットのシリアル番号はPODに記載されています。
2. キャリアのロック解除スイッチをスライドさせてPODを分解します。
3. PODを取り外し、シリアル番号が印字された白いラベルを確認してください。



ヘッドセットの操作



- **調整スライド**: 押したり引いたりして、快適に装着できるよう調整します。
- **インジケータLED**: ヘッドセットのインジケータLEDは、上記の表に示されているように、ヘッドセットの動作状態を表示します。
- **T1およびT2(トークボタン)**: 注文ポイントに接続します。
 - 注文ポイントが2つある場合、T1は注文ポイント1に、T2は注文ポイント2に接続します。
 - 手動ラッチモードまたはハンズフリーモードでは、トークボタンを押すことで自分が注文受付者となります。注文受付者である間、トークボタンは注文ポイントのミュートボタンとして機能します(ボタンを押すごとにミュートのオン/オフが切り替わります)。
- **音量**: ヘッドセットの音量調整部分を指で上下に押してください。上方向に押すと音量が大きくなり、下方向に押すと音量が小さくなります。
- **呼び出し**: 店内チームとの通話用です。
 - 同じレーン上のすべてのヘッドセット(または設定によっては両方のレーン上のヘッドセット)に対して話することができますが、注文ポイントには接続されません。通常動作中にページボタンを押し続けることで、他のヘッドセットと通話できます。

注文受付のセットアップ

システムがどの注文受付モードを使用するかについては、店舗マネージャーまたは店舗の技術担当チームに確認してください。

注文受付モードの変更:

1. 提供されたリンクと認証情報を使用して、ウェブページ／ポータルにログインします。左側のパネルから[**Devices (デバイス)**]を選択し、自分のベースステーションを選びます。[**Actions (アクション)**]の(...)アイコンをクリックし、[**Settings (設定)**]を選択します。[**Order Taking (注文受付)**]に移動し、該当する[**Headset Behavior (ヘッドセット動作)**]を適宜選択して[**Apply Changes (変更を適用)**]をクリックします(各モードの詳細については、下表を参照してください)。

音量設定の変更

インバウンドヘッドセット音量

インバウンドヘッドセット音量を変更すると、注文ポイントのマイクからヘッドセットのイヤホンスピーカーに届く音量が調整されます。インバウンドヘッドセット音量を上げ下げする方法:

1. 提供されたリンクと認証情報を使用して、ウェブページ／ポータルにログインします。左側のパネルから[**Devices (デバイス)**]を選択し、自分のベースステーションを選びます。[**Actions (アクション)**]の(...)アイコンをクリックし、[**Settings (設定)**]を選択します。[**Volume & Devices (音量 & デバイス)**] > [**Volume Settings (音量設定)**] > [**Headset Volume (ヘッドセット音量)**]の順に移動します。該当レーンの[**Relative Volume Controls (相対音量調整)**]内で、スライダーを調整するか希望の値を入力して音量を設定します。
2. [**Apply Changes (変更を適用)**]をクリックします。

アウトバウンドレーン音量

アウトバウンドレーン音量を変更すると、注文ポイント側のスピーカー音量が調整されます。アウトバウンドレーン音量を変更するには:

1. 提供されたリンクと認証情報を使用して、ウェブページ／ポータルにログインします。左側のパネルから[**Devices (デバイス)**]を選択し、自分のベースステーションを選びます。[**Actions (アクション)**]の(...)アイコンをクリックし、[**Settings (設定)**]を選択します。[**Volume & Devices (音量 & デバイス)**] > [**Volume Settings (音量設定)**] > [**Lane Volume (レーン音量)**]の順に移動します。[**Outbound Talk (アウトバウンドトーク)**]内でスライダーを調整するか希望の値を入力して音量を設定します。
2. [**Apply Changes (変更を適用)**]をクリックします。

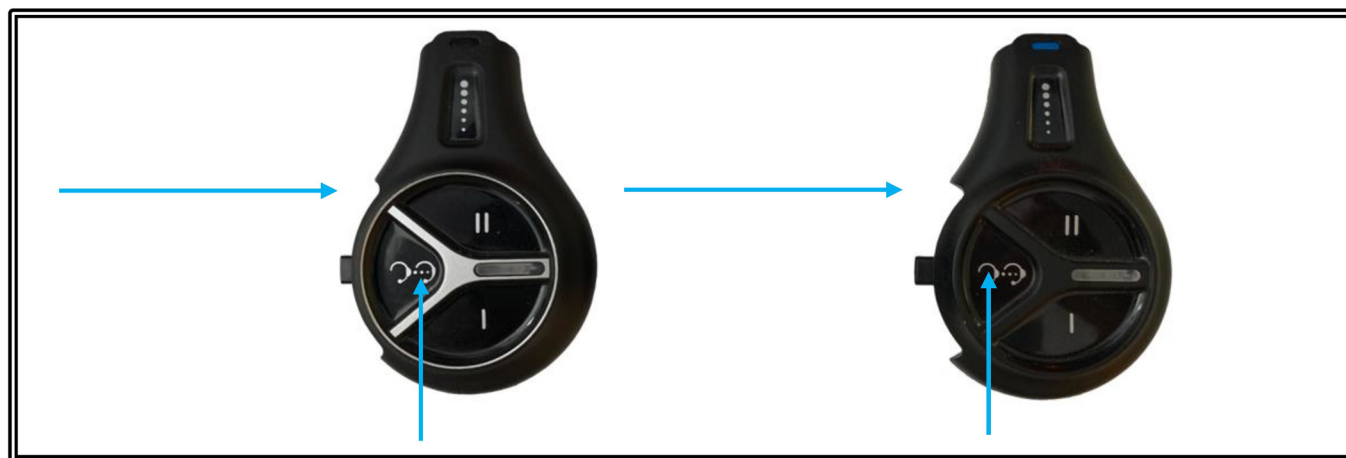
ClearヘッドセットとG5ヘッドセットの比較

Clearの新機能

- クロスモード／スプリットモードでは、ヘッドセットを起動または電源オンにした際(すでに登録済みの場合)、待機しているレーンを音声で案内します(例:「Lane 1」または「Lane 2」)。
- クロスモード／スプリットモードで、反対側のボタンを短く押すと、ヘッドセットは反対側のレーンに切り替わり、「Lane 1」または「Lane 2」と音声で案内します
- 注文受付者: 任意のヘッドセットでトークボタンを押すことで注文ポイントの通話を引き継ぐことができます。ただし、同時に注文ポイントで通話できるのは1台の注文受付者のみです
- 複数のヘッドセットで同時に呼び出しが可能

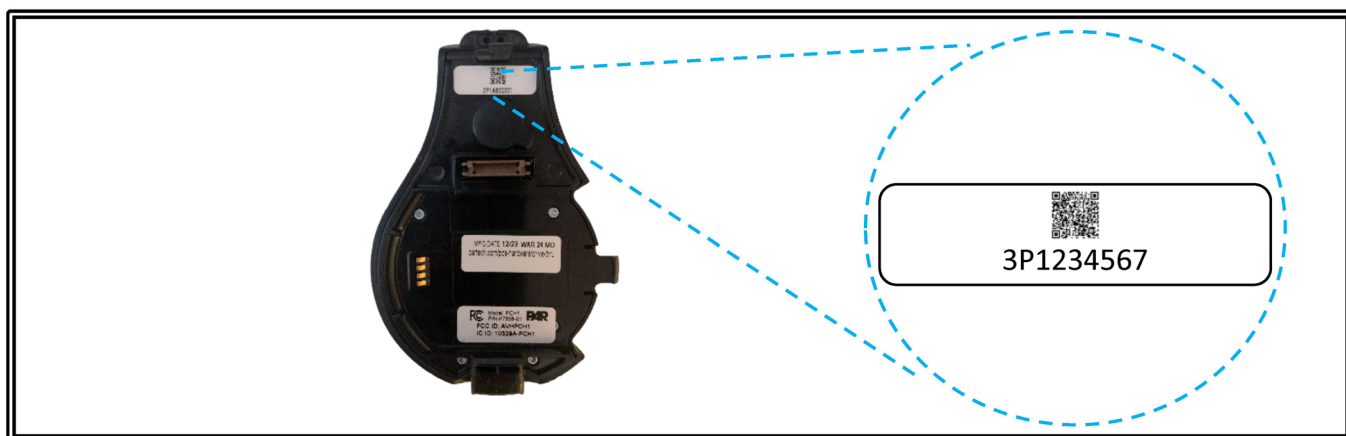
外観上の違い

Clear PODは、コントロールパッドの周囲にシルバーメタリックのシルクスクリーンを備えています。G5は全体がブラックです。



シリアル番号の範囲:

Clear PODのシリアル番号は、3PXXXXXXXで始まります。G5 PODのシリアル番号は、2PXXXXXXXで始まります



ライト表示の違い

ライト表示の説明	CLEAR(現行世代)	G5(前世代)
レーン1待機	緑点灯	緑点灯
レーン2待機 スプリットモード	緑／赤点灯	緑／赤点灯
レーン2待機 クロスモード	緑点灯	緑／赤点灯
トークマイク ライブ	赤点灯	赤点灯
未登録	緑／赤点滅	緑／赤点滅
注文受付者ミュート中	赤点滅	赤点滅
車両検知(未応答)	青点滅	青点滅
車両検知コール 応答済み	青点灯	青点灯
呼び出しコールがアクティブ時の ヘッドセット待機	緑／赤交互点灯	緑点灯

現在の機能の違い

クロスモード、待機時

- CLEARのマイクブームとPODライトは、レーン1でもレーン2でも常に緑で点灯します。
- G5については、レーン1ではマイクブームが緑、レーン2では緑／赤になります

クロスモードで、レーンに車両がある状態で呼び出しボタンを押した場合

- CLEARでは、注文受付者がコールに応答後、車両が注文ポイントにいる状態でページボタンを押すと、すべてのヘッドセットが振動し、トーン音を発し、マイクブームが青で点滅します。
- G5については、レーン1ではマイクブームが青／緑に点灯、レーン2ではマイクブームが青／緑／赤に点灯し、振動やトーンはありません。

スプリットモードで、レーンに車両がある状態で呼び出しボタンを押した場合

- CLEARでは、注文受付者がコールに応答後、車両が注文ポイントにいる状態でページボタンを押すと、そのレーンに割り当てられたすべてのヘッドセットが振動し、トーン音を発し、マイクブームが青で点滅します。
- G5については、レーン1ではそのレーンに割り当てられたヘッドセットがトーン音を発し、マイクブームが青／緑に点灯、レーン2ではマイクブームが青／緑／赤に点灯し、振動はありません。

待機中、検知車両なしでトークボタンを押した場合

- CLEARでは、注文受付者がトークボタンを押すと、待機中のヘッドセットのマイクブームが青で点灯します。
- G5では、マイクブームは緑で点灯します

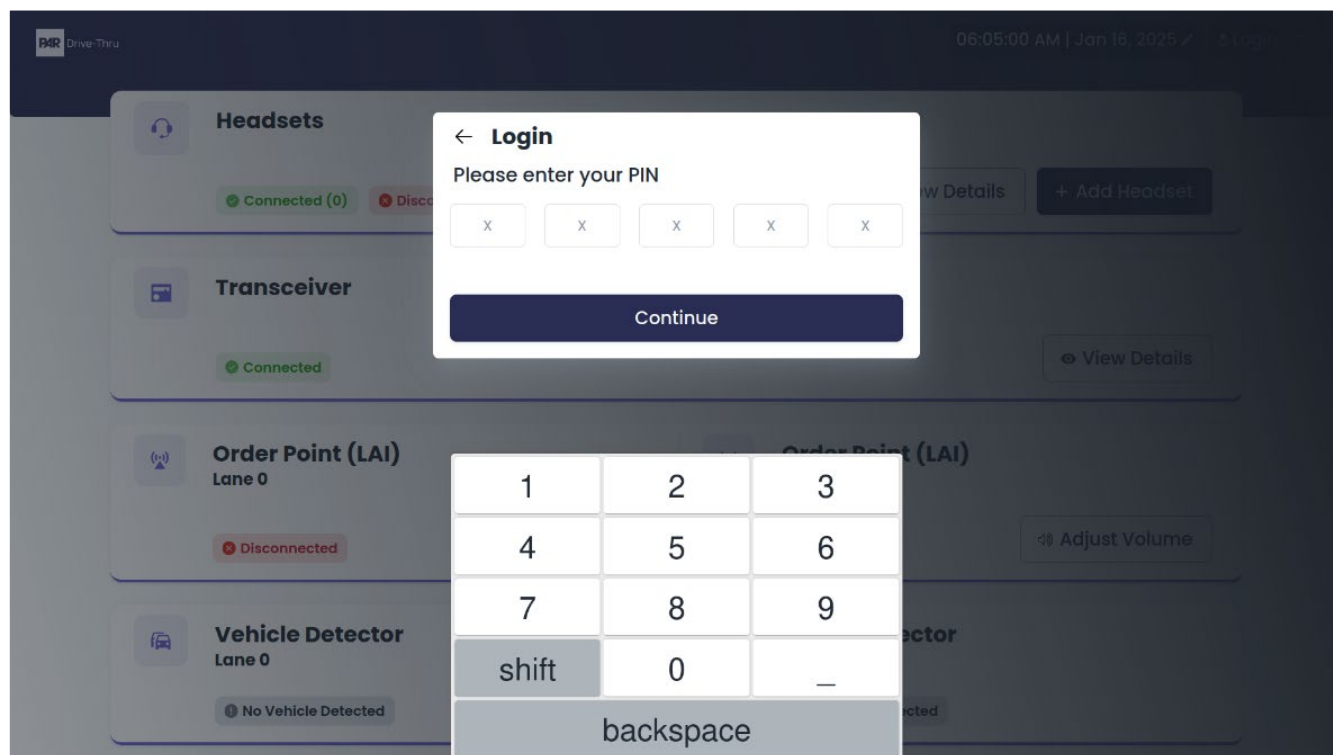
待機中、ユーザーが呼び出しコールを開始した場合

- CLEARでは、他のすべてのヘッドセットが緑／赤で交互点灯します。
- G5では、他のすべてのヘッドセットが緑で点灯します

コマンドコンソールの使用

ログイン

パスコードでログイン: デフォルトパスコード – 12345



日付／時刻の調整

1. ページ上部の日付／時刻をクリックします。
2. 編集可能なフィールドを含むモーダルが表示され、日付と時刻を調整できます。

注記: 車両画像は、車両が注文ポイントに到着したときのみ表示されます。

ヘッドセットの使用

ヘッドセットの詳細

[Headsets (ヘッドセット)] セクション右側の [View Details (詳細を表示)] ボタンをクリックします。ステータス、レーン、登録日など、すべてのヘッドセット情報が表示されます。シングルレーンまたはデュアルレーンは、システムの構成に応じて表示されます。

ヘッドセット音量の調整

ページ上部の [Adjust Volume (音量調整)] ボタンをクリックします。(シングルレーン／デュアルレーン構成に応じて) 5～6段階の音量設定が表示されます。

車両アラート音量の調整

車両がドライブスルーに到着した際にヘッドセットで鳴る呼び出し音の音量を調整します。

案内メッセージ音量の調整

車両がドライブスルーに到着した際に再生されるヘッドセット内メッセージの音量を調整します。

アラートメッセージ音量の調整

ヘッドセット内で再生されるアラート音量を調整します。裏口の開放、冷蔵庫の扉が開いた場合などのイベントでトリガーされます。

リマインダーメッセージ音量の調整

オペレーターが作成した、オーブンの電源を切る、裏口を施錠するなどの業務リマインド用メッセージのヘッドセット内音量を調整します。

注文ポイントのマイク音量調整(顧客の声)

注文ポイントでの顧客の声(マイク入力)のヘッドセット音量を調整します。

ヘッドセットの追加

1. メインページで [Add Headset (ヘッドセットを追加)] をクリックします。
2. システムが近くのヘッドセットを自動的に検出し、ヘッドセットIDを一覧表示します。このとき、接続可能なヘッドセットに対して接続試行が行われます。
3. ヘッドセットが検出されると、システムが登録を行い、ヘッドセット登録をオフにするように求めるプロンプトが表示されます。

注文受付モード

[Headsets (ヘッドセット)] ページのドロップダウンメニューから、注文受付モードを選択します。変更後、必ず [Update (更新)] ボタンをクリックして保存してください。

割り当てレーンの編集

1. 対象のヘッドセットの右側にある(...) アイコンをクリックし、表示されるメニューから [Edit Headset Settings (ヘッドセット設定を編集)] を選択します。
2. モーダルが表示され、ヘッドセットに割り当てるレーンと、スロット1および2のボタン動作を選択できます。

スプリットモードとクロスモード

デュアルレーン設置の場合、システムはヘッドセットをスプリットレーンモードまたはクロスレーンモードで動作するように設定できます。

- **スプリットレーンモード**は、2人の注文受付者がいるドライブスルー向けです。各注文受付者には、自分のヘッドセットに設定されたレーンのビープ音だけが聞こえます。他のレーンからのビープ音は聞こえません。
- **クロスレーンモード**は、1人の注文受付者で運用するドライブスルー向けです。その注文受付の担当者には、1つのヘッドセットで両方のレーンからのビープ音が聞こえます。システムの設定により、注文受付以外のスタッフも一方または両方のレーンからの注文やページを聞けるようにできます。

LAIの使用

音量調整

ホームページから、調整したいLAIの横にある[**Adjust Volume**(音量調整)]を選択します。

昼間スピーカー音量

(Drive-Thru Cloudで設定する)昼間において、(案内メッセージを含む)注文受付者の声を顧客が注文ポイントで聞く際の音量を調整します。

夜間スピーカー音量

(Drive-Thru Cloudで設定する)夜間において、(案内メッセージを含む)注文受付者の声を顧客が注文ポイントで聞く際の音量を調整します。

スピーカー出力音量(注文受付者)

顧客が注文ポイントで聞く注文受付者の声の音量を調整します。上記のコントロールを使って昼間と夜間で個別に調整できます。

案内メッセージ相対音量

顧客が注文ポイントで聞く案内メッセージの音量を調整します。

Drive-Thru Cloud Portalの利用

提供されたアドレス／リンクにアクセスし、インターネットに接続されたウェブ対応デバイスで認証情報を入力して、PAR Drive-Thru Cloud Portal にログインします。

<https://portal.drivethru.partech.com>

ユーザーメニュー

1. ページ左上のドロップダウンをクリックすると、以下のメニューを選択できます。
 - i. サポートへの問い合わせ: 電話番号 800-328-0033、メール drivethrusupport@partech.com、チャット受付時間: 月～金、午前8時～午後4時30分
 - ii. ユーザー設定:
 - a. アカウント: プロフィール写真、名前、通知用メールアドレス、電話番号を編集／アップロードできます。編集後は[Save(保存)]をクリックしてください。
 - b. 基本設定: 言語、タイムゾーン、日付形式を選択できます。編集後は[Save(保存)]をクリックしてください。
 - c. パスワード: パスワードの変更を行うことができます。
 - d. アラート: ベースステーション、ファームウェアの利用可否や更新完了通知、サイトのレーン変更、組織・デバイス・ユーザーごとの日次サマリーレポートなど、受信したいメール通知の種類を選択できます。
 - iii. ビデオチュートリアル: ビデオチュートリアルを閲覧、並べ替え、検索することができます。

クラウドダッシュボードの表示

1. 画面の左側にある[Dashboard(ダッシュボード)]を選択します。
2. ダッシュボードは法人、フランチャイズ、店舗ごとに階層的に絞り込みできます。
3. 接続中／未接続／旧バージョンのファームウェアを搭載したデバイスを一覧で確認できます。
4. 複数店舗を管理しており、適切な権限がある場合は、上位5店舗の車両対応数、全体の対応車両数、注文ポイントでの平均滞在時間を確認できます。
5. また、サイト概要(サイト数、設置デバイス総数)も確認できます。

ユーザー画面

ユーザーの追加

1. **[Users(ユーザー)]**に移動します。
2. 作成したいユーザー種別をクリックします。権限に応じて設定可能なロールのみが表示されます。
3. **法人、フランチャイズ、サイト管理者**のいずれかを選択します。
4. **[Add New xxx Admin(新しいxxx管理者を追加)]**をクリックします
5. ユーザー名とメールアドレスを入力し、割り当て先のサイトを選択します。次に、**[Add User(ユーザーを追加)]**をクリックします(事前にサイトが作成済みである必要があります)

ユーザーの削除／編集

同じ画面の**[Actions(アクション)]**に進み、対象ユーザーに対して適宜編集または削除を選択します。

組織画面

組織の追加

1. **[Organizations(組織)]**に移動します。
2. 作成したい組織の種類を選択します。権限に応じて設定可能なロールのみが表示されます。**法人、フランチャイズ、サイト**のいずれかを選択します。
3. **[Add New xxx(新しいxxxを追加)]**をクリックします
4. 必要に応じて情報や階層を入力し、**[Add xxx(xxxを追加)]**をクリックします

組織の削除／編集

同じ画面の**[Actions(アクション)]**に進み、対象組織に対して適宜編集または削除を選択します。

デバイス画面

デバイスの編集/設定

1. **[Devices(デバイス)]**に移動します
2. 複数のサイトがある場合、法人、フランチャイズ、サイト別にデバイスを階層的に絞り込むことができます。また、デバイスの状態(稼働中／未割当)、ファームウェアの状態でもフィルタ処理できます。
3. デバイスの一覧を表示するには、「+」アイコンをクリックします。すると、選択したフィルタに基づき、デバイス名、MACアドレス、サイト名、サイト管理者、状態、稼働開始日、ファームウェア情報が表示されます。
4. デバイスを編集するには、アクションの(...)をクリックし、**[Edit(編集)]**を選択します
5. アクションの(...)アイコンをクリックし、**[Settings(設定)]**を選択します。
 - a. アクションの(...)アイコンから**[Edit(編集)]**をクリックすると、デバイス名、組織の割り当て、デバイスを割り当てるユーザーを編集できます。また、デュアルレーンにアップグレード済みの場合は、シングルレーン構成からデュアルレーン構成へ切り替えることも可能です。編集を終えたら、**[Update(更新)]**をクリックしてください。
 - b. **[Settings(設定)]**を選択した場合、左側のサブメニューに表示される各オプションからデバイスの詳細設定を行うことができます。

サイトの設定

1. **[General Settings(一般設定)]**では、言語、タイムゾーン、日付形式の優先設定を選択できます。
変更した場合は、**[Apply Changes(変更を適用)]**をクリックします。
2. **[Site Information(サイト情報)]**で、**[Edit Site Information(サイト情報を編集)]**をクリックすると編集が可能です。デバイスに関連付けられた住所(番地、市区町村、州／都道府県、郵便番号、国、電話番号)を入力できます。入力が完了したら**[Apply Changes(変更を適用)]**を選択します。
3. **[Site Hours(サイトの営業時間)]**では、システムの稼働時間を編集できます。特定の日を選択し、アクションメニューの(...)から**[Edit(編集)]**をクリックするか、同一の営業時間を複数日にまとめて適用する場合は、**[Bulk Update(一括更新)]**をクリックします。必要に応じて、店舗営業時間、開店時間、閉店時間、夜間音量時間を入力します。変更を行った場合は**[Update(更新)]**をクリックします。
4. **[Holiday Schedule(休日スケジュール)]**では、システムに登録されている休日を追加、編集、削除することができます。休日を追加する場合は、**[Add Holiday(休日を追加)]**をクリックします。既存の休日を編集または削除する場合は、(...)アイコンをクリックし、実行したい操作を選択します。必要に応じて、休日名、休日の区分、休日の日付、および休日の開店・閉店時間を入力してください。操作を確認したら、**[Add(追加)]**、**[Update(更新)]**、または**[Delete(削除)]**のいずれかをクリックします。

ネットワーク設定

[Network Settings(ネットワーク設定)]の**[Network Setup(ネットワークのセットアップ)]**では、システムの接続方法を **DHCP**または**Static IP**に設定できます。必要な接続方法を選択してください。Static IPを選択した場合は、サブネットマスク、IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーなどの必要なフィールドに入力します。DHCPを使用する場合は、残りの項目は自動割り当てに任せてください。設定が完了したら、**[Apply Changes(変更を適用)]**をクリックします。

注文受付

1. **[Order Taking(注文受付)]**セクションでは、**[Headset Behavior(ヘッドセット動作)]**、**[Staff Order Mode Settings(スタッフ注文モード設定)]**、**[Vehicle Alert Notifications(車両アラート通知)]**、**[Lane Audio(レーンオーディオ)]**の設定を変更できます。ヘッドセット動作は9種類のモードから選択できます。動作モードの説明を見るには、**[More Info(詳細情報)]**アイコンをクリックします。**[Staff Order Mode Settings(スタッフ注文モード設定)]**では、車両が到着した際にヘッドセットがどのように動作するか(振動、トーン、LED など)を選択できます。また、ヘッドセットの動作方式としてスプリットモードまたはクロスモードを選択することもできます。変更を行った後は、**[Apply Change(変更を適用)]**ボタンをクリックします。
 - a. クロスモードの場合、車両が到着してまだ応答されていない呼び出しがあるとき、すべてのヘッドセットに振動、トーン、LEDなどの通知が送られます。ただし、アクティブな注文受付者(通話中の担当者)は、通話中は車両トーン通知のみを受け取ります。

- b. スプリットモードの場合、ヘッドセットは各レーンに割り当てられ、そのレーンでまだ応答されていない呼び出しがあるときのみ、振動、トーン、LEDなどの通知を受け取ります。

注文受付モードでのヘッドセットの動作

ヘッドセットの動作 - 注文受付モード	定義
ML/PTT - 手動リスニング、プッシュ・トゥ・トーク	手動リスニング (ML) オペレーターはレーン通話ボタンを押して、(顧客の注文を聞くため)注文ポイントのマイクをオンにします。マイクは車両が離れるまでオンのままになります。 プッシュ・トゥ・トーク (PTT) オペレーターは、ヘッドセットのマイクに向かって話す間、通話ボタンを押し続ける必要があります。ボタンを放すと、マイクはオフになります。
ML/MLT- 手動リッスン、手動ラッチトーク	手動リスニング (ML) オペレーターはレーン通話ボタンを押して、(顧客の注文を聞くため)注文ポイントのマイクをオンにします。マイクは車両が離れるまでオンのままになります。 手動ラッチトーク (MLT) オペレーターはレーン通話ボタンを押して放すことで、ヘッドセットのマイクを「ラッチ」またはロックしてオンの状態にします。オペレーターは、通話ボタンを再度押して放すまで、ハンズフリーで会話を続けることができます。
AL/PTT - 自動リスニング、プッシュ・トゥ・トーク	自動リスニング (AL) 車両が検知されると、注文ポイントのマイクが自動的にオンになり、そのままオンの状態を維持します。マイクは車両が離れるまでオンのままになります。 プッシュ・トゥ・トーク (PTT) オペレーターは、ヘッドセットのマイクに向かって話す間、通話ボタンを押し続ける必要があります。ボタンを放すと、マイクはオフになります。
AL/MLT- 自動リスニング、手動ラッチトーク	自動リスニング (AL) 車両が検知されると、注文ポイントのマイクが自動的にオンになり、そのままオンの状態を維持します。マイクは車両が離れるまでオンのままになります。 手動ラッチトーク (MLT) オペレーターはレーン通話ボタンを押して放すことで、ヘッドセットのマイクを「ラッチ」またはロックしてオンの状態にします。オペレーターは、通話ボタンを再度押して放すまで、ハンズフリーで会話を続けることができます。
ハンズフリー	ハンズフリー 注文ポイントの車両検知器が車両を検出すると、ヘッドセットのマイクは常にオンになります。ハンズフリーが「オン」の場合、Automatic Standby (自動待機) も有効になるため、車両が検出されなくなるとマイクは自動的にオフになります。
屋外PTT - 屋外、プッシュ・トゥ・トーク	屋外 注文受付者がヘッドセットを装着して屋外に立つ運用を予定している場合、屋外モードが最適です。このモードでは、注文ポイントのスピーカー、マイク、車両検知器が無効化されます。これにより、注文入力や特別な依頼・コメントのためにヘッドセットを装着したスタッフと直接通信できます。 プッシュ・トゥ・トーク (PTT) オペレーターは、ヘッドセットのマイクに向かって話す間、通話ボタンを押し続ける必要があります。ボタンを放すと、マイクはオフになります。

ヘッドセットの動作 - 注文受付モード	定義
屋外MLT - 外部通話、プッシュ・トゥ・トーク	屋外 注文受付者がヘッドセットを装着して屋外に立つ運用を予定している場合、屋外モードが最適です。このモードでは、注文ポイントのスピーカー、マイク、車両検知器が無効化されます。これにより、注文入力や特別な依頼・コメントのためにヘッドセットを装着したスタッフと直接通信できます。 手動ラッチトーク (MLT) オペレーターはレーン通話ボタンを押して放すことで、ヘッドセットのマイクを「ラッチ」またはロックしてオンの状態にします。オペレーターは、通話ボタンを再度押して放すまで、ハンズフリーで会話を続けることができます。
常時オン - PTT (車両検知器バイパス) - プッシュ・トゥ・トーク	常時オン 注文ポイントのスピーカーは常にオンになっており、車両検知器で車両が検出されていなくても顧客の声を常に聞くことができます。常時オンは特別なフェイルモードであり、車両検知器が使用できない場合に有効です
	プッシュ・トゥ・トーク (PTT) オペレーターは、ヘッドセットのマイクに向かって話す間、通話ボタンを押し続ける必要があります。ボタンを放すと、マイクはオフになります。
常時オン - MLT (車両検知器バイパス) - 手動ラッチトーク	常時オン 注文ポイントのスピーカーは常にオンになっており、車両検知器で車両が検出されていなくても顧客の声を常に聞くことができます。常時オンは特別なフェイルモードであり、車両検知器が使用できない場合に有効です 手動ラッチトーク (MLT) オペレーターはレーン通話ボタンを押して放すことで、ヘッドセットのマイクを「ラッチ」またはロックしてオンの状態にします。オペレーターは、通話ボタンを再度押して放すまで、ハンズフリーで会話を続けることができます。

車両検知時のスタッフ注文モード設定

スタッフ注文モード設定	定義
振動	注文ポイントで応答されていない検知があった場合、ヘッドセットでの振動通知を有効／無効にします
トーン (スタッフ)	注文ポイントで応答されていない検知があった場合、ヘッドセットでのトーン通知を有効／無効にします
LED	注文ポイントで検知があった場合、ヘッドセットでの青色LED通知を有効／無効にします

デジタル (入出力)

- ループ検知器入力:** このセクションでは、注文ポイント1および／または注文ポイント2で検知が発生した際に、システムがアラートを受け取るまでの遅延時間 (秒単位) を調整できます。調整後は、**[Apply Changes (変更を適用)]** をクリックします。
- リレー絶縁出力:** このセクションでは、2つの補助リレー出力を、DET1-2入力に追従させるか、または入力として割り当てられた任意のGPIOポートに追従させるかを、ドロップダウンから選択して割り当てることができます。設定を変更した後は、**[Apply Changes (変更を適用)]** をクリックします。
- GPIOポート:** このセクションでは、16個のGPIOポートを入力または出力として設定できます。さらに、GPIOポートはドロップダウンリストから割り当てることができます。設定を変更した後は、

[Apply Changes(変更を適用)]をクリックします。

メッセージング

1. **メッセージデイパート** - このセクションでは、案内メッセージ、警告メッセージ、またはリマインダーメッセージのために、デイパート(時間帯)を定義できます。最大12個のデイパートを設定可能です。デイパートとは、メッセージが有効化され、指定された時間帯に再生される、1日の中の時間区分のことです。必要に応じて、[+Add Daypart(デイパートを追加)]ボタンをクリックして追加するか、(...)アイコンをクリックして編集または削除できます。追加または編集を行う際には、**デイパート名**、**開始時刻**、および**終了時刻**を入力/修正します。その後、選択内容に応じて[Add(追加)]、[Apply Changes(変更を適用)]、または[Yes, Delete(はい、削除します)]をクリックします。
2. **Messages(メッセージ)**: このセクションでは、メッセージの追加、有効化、編集/削除を実行できます。メッセージは最大で16件設定可能で、複数のタイプ(案内、リマインダー、アラート)を組み合わせる構成できます。各メッセージの最大再生時間は15秒です。

メッセージタイプ	定義
案内	注文ポイントで検知が発生した際に、注文ポイントのスピーカー、ヘッドセット、キッチンモニターのグリルスピーカーで再生されるメッセージ。
リマインダー	スケジュールに基づいて定期的に、ヘッドセットおよびキッチンモニターのグリルスピーカーで再生されるメッセージ
アラート	GPIO入力ポートでイベントが発生した際に、必要に応じてヘッドセットおよびキッチンモニターのグリルスピーカーで再生されるメッセージ

- a. [+Add New Message(+新しいメッセージを追加)]をクリックすると、メッセージ名、メッセージタイプ、(遅延、繰り返し回数、繰り返し間隔を入力できます(リマインダーおよびアラート用))。[Upload Pre-Recorded Message(事前に録音したメッセージをアップロード)]または[Record Message(メッセージを録音)]を選択することもできます。事前に録音したメッセージをアップロードする場合は、[Select a file(ファイルを選択)]をクリックし、デバイスからファイルを選択します。アップロード可能なファイル形式は.wav、.mp3、.mp4、.m4aです。必要に応じて、外付けまたは内蔵マイクを備えたWeb対応デバイスを使用し、**マイクアイコン**を選択して録音を開始できます。録音を終了する際は[Pause(一時停止)]ボタンをクリックした後、[Save(保存)]アイコンをクリックして保存します。「X」を選択すると録音を破棄し、必要に応じて再録音できます。完了したら[Add(追加)]をクリックしてメッセージをシステムに追加します。新しいメッセージを追加した後、有効化する場合は、必ず[Enabled(有効)]チェックボックスをオンにしてください。
- b. 対象のメッセージ行の横にある(...)から[Edit(編集)]をクリックすると、そのメッセージを編集できます。メッセージを「Enable(有効化)」または「Disable(無効化)」したり、「Priority(優先)」として選択できます(これは、リマインダーやアラートメッセージが注文ポイントでの通話中に再生予定だった場合、その通話終了後に再生されることを意味します)。また、メッセージの「Type(タイプ)」を変更したり、「Delay(遅延)」を編集したり、「Repeat Count(繰り返し回数)」と「Repeat Interval(繰り返し間隔)」を設定することも可能です(リマインダーおよびアラートメッセージのみ)。さらに、「Update Audio Clip(オーディオクリップの更新)」も実行できます。さらに下に進むと、「Select

All Day Parts (すべてのデイパートを選択)してメッセージを全7日間で再生させることができます。また、各日の[+]アイコンをクリックし、その日の再生したいデイパート(時間帯)を選択することも可能です。編集が完了したら、[**Apply Change (変更を適用)**]をクリックして更新します。

- c. (...)アイコンから[**Delete (削除)**]を選択すると、確認メッセージが表示されます。確認後、[**Yes, Delete (はい、削除します)**]をクリックします。

音量とデバイス

音量設定:このセクションでは、レーン、ヘッドセット、キッチンモニターの音量を変更することができます。

1. [**Lane Volume (レーン音量)**]の下にある[+]アイコンをクリックすると、値が表示され、レーン1またはレーン2の設定を必要に応じて調整できます。昼間スピーカー音量は、昼間の時間帯における注文ポイント外部スピーカーの絶対音量です。夜間スピーカー音量は、夜間タイマー時間帯における注文ポイントでの外部スピーカーの音量です(アウトバウンド音量は、注文受付者のマイク音量の相対値で、設置業者専用の設定であるため調整しないでください)。案内メッセージ相対音量は、注文ポイント外部で再生される案内メッセージの音量です。「マイクゲイン設定」は、外部マイクのプリアンプ設定で、設置業者専用です。調整を行った後は、必ず[**Apply Changes (変更を適用)**]をクリックしてください。
2. [**Headset Volume (ヘッドセット音量)**]では、ヘッドセット内で再生される音量を調整できます。具体的には、「**車両アラート音量**」(車両到着時にヘッドセットで鳴るトーン)、「**注文ポイントマイクレーン1/2**」(注文ポイントでの顧客の声)、「**案内メッセージ**」、「**リマインダーメッセージ**」、「**アラートメッセージ**」などが該当します。調整後は必要なチェックボックスをオンにし、[**Apply Changes (変更を適用)**]をクリックしてください。
3. [**Kitchen Monitor Volume (キッチンモニター音量)**]にある[+]アイコンをクリックすると、キッチンスピーカーで再生される音量を調整することができます。ここでは、「**マスター音量**」(主音量)、「**呼び出しチャネル**」(チームメンバー間の通信)、「**アウトバウンド案内メッセージ**」(注文ポイント外で再生される案内メッセージ)、「**アラートメッセージ**」、「**リマインダーメッセージ**」(ヘッドセットで再生されるもの)の編集が可能です。調整を行った後は、必要なチェックボックスとモニタースピーカーの[**Enable (有効化)**]を選択し、[**Apply Changes (変更を適用)**]をクリックしてください。
 - a. Lane 1/2の音声を確認するオプションもあります。具体的には、「**インバウンドリスニング**」(外部マイクで拾った顧客の注文音声)、「**アウトバウンドトーク**」(注文受付者の声)、「**車両アラート**」(注文ポイントで検知があった際のアラート音)などです。これらの音声は[+]をクリックすると確認できます。調整後は必要なチェックボックスをオンにし、[**Apply Changes (変更を適用)**]をクリックしてください。

接続デバイス:このセクションでは、システムに接続されているデバイスを表示し、設定を構成できます。

1. [**LAi**] (Lane Audio Interface) は、外部スピーカーおよびマイクに接続されるデバイスです。ここでは、以下の情報を確認できます。「**デバイスID**」、「**LAiのステータス**」、「**最新ファームウェアバージョン**」、「**割り当てられたレーン**」、「**ノイズ低減レベル**」設定。[**Actions (アクション)**]に移動して(...)アイコンをクリックします。ここでは、「**LAi設定の編集**」、「**バージョン詳細の表示**」、「**接続ステータスの表示**」、「**ヘルス詳細の表示**」、「**LAi設定をクリア**」を選択できます。
 - a. [**Actions (アクション)**]から[**Edit LAi Settings (LAi設定を編集)**]を選択すると、特定のレーンにLAiを割り当てることができます。[**Assigned Lane (割り当てられたレーン)**]ドロップダ

ウンをクリックして、LAIが設置されている正しいレーンを選択します。次のフィールドは[**Noise Reduction Level(ノイズ低減レベル)**](マイクのインバウンドレーン音声)で、環境に応じて最適な音質となるように異なるノイズ低減レベルを選択できます(**この設定は設置業者専用です**)。最も一般的な標準レベルは「**Special ZVC0**」です。最後のフィールドは[**Detection Type(検知タイプ)**]で、[Loop Detector(ループ検知器)](存在検知モード)または[Wakeup Mode(ウォークアップモード)](パルス検知モード)を選択できます。変更が完了したら、[**Apply Changes(変更を適用)**]をクリックします。

検知タイプ	説明の例
ループ検知器(存在検知モード)	最も一般的な検知器です。対象物が検知範囲内に存在している間、ベースステーションにアクティブな検知を通知し続けます。対象物が検知範囲内にある限り、検知はアクティブな状態を維持します。
ウォークアップモード(パルス検知モード)	パルス検知器はあまり一般的ではありません。アクティブな検知が発生した時点でベースステーションに通知しますが、車両が離れたかどうかを把握する仕組みはありません。通常はモーメンタリースイッチ(押して離すタイプのスイッチ)やエアホースが使用され、スイッチが押されて離された時や車両がエアホースを通過した時にパルス信号を送ります。

- b. [View Version Details(バージョン詳細を表示)]を選択すると、「LAIシステム」、「SIPクライアント」、「メッセージサーバー」、「MQTTクライアント」、「システムコントローラー」、「システムLAI DSP FW」、「VoIPサーバー」のバージョンを確認できます。このセクションは、サポートチームや設置業者がトラブルシューティングを行う際に使用します。
 - c. [View Connection Status(接続ステータスを表示)]を選択すると、「VoIP登録ステータス」、「VoIP招待ステータス」、「MQTTクライアントステータス」、「LAI IPアドレス」を確認できます。さらに、[Get Latest Status(最新のステータスを取得)]ボタンをクリックすると、これらのフィールドが最新の状態に更新されます。なお、LAIデバイスの注文ポイントで検知がある場合には、[VoIP Invite Status(VoIP招待ステータス)]フィールドのステータスは、「Confirmed(確認済み)」に、検知がない場合には「Disconnected(切断)」に変わります。このセクションは、サポートチームや設置業者がトラブルシューティングを行う際に使用します。
 - d. [View Health Details(ヘルス詳細を表示)]を選択すると、対象のLAIのヘルスステータスを確認できます。ここでは、稼働中/停止中のサービス(「SIPクライアント」、「MQTTクライアント」、「システムコントローラー」、「テストステータス」など)を確認できます。「メッセージサーバー」、「IOクライアント」、「VoIPサーバー」、「リモートアクセス」。このセクションは、サポートチームや設置業者がトラブルシューティングを行う際に使用します。
 - e. [Clear LAI Settings(LAI設定をクリア)]を選択すると、LAIをクリアできます。ただし、この操作はLAIのステータスが「Disconnected(切断)」の場合にのみ利用可能です。すべてのLAIが切断されている場合は、[Clear All LAI(すべてのLAIをクリア)]を選択できます。デバイスをクリアする場合は、[Yes, Clear(はい、クリアします)]を選択してください。このセクションは、サポートチームや設置業者がトラブルシューティングを行う際に使用します。
2. [Transceiver(トランシーバー)](壁掛け型ラジオアンテナモジュール)では、「シリアル番号」、「ファームウェアのバージョン」、「登録モード」、「稼働中のヘッドセット」、「登録済みのヘッドセット」を確認できます。

フィールド	説明
Serial Number(シリアル番号)	トランシーバーWMTのシリアル番号ID
Version(バージョン)	トランシーバーWMTのファームウェア
Status(ステータス)	トランシーバーWMTのステータス - オンラインの場合はConnected(接続中)、オフラインの場合はDisconnected(切断)と表示されます。
Registration Mode(登録モード)	ヘッドセット登録モード - ヘッドセットを追加しないときはClosed(閉)、ヘッドセット登録を行っているときはOpen(開)と表示されます
Headsets Active(稼働中のヘッドセット)	電源が入っていてトランシーバーWMTに登録されているヘッドセットの数を表示します
Headsets Registered(登録済みのヘッドセット)	トランシーバーWMTに登録されているヘッドセットの数を表示します(電源が入っているかどうかは関係ありません)。

3. **[Headsets(ヘッドセット)]**で、**[+ Register Headsets(+ヘッドセットを登録)]**をクリックすると、ヘッドセットを追加・登録することができます。また、**[Clear All Registration(すべての登録をクリア)]**を選択すると、登録されているすべてのヘッドセットを一度に削除できます。現在登録されているヘッドセットは、「デバイス ID」、「MAXIM/TIバージョン」、「ステータス」、「割り当てられたレーン」、「割り当てられた日」、「バッテリー残量」、「信号強度」で確認することもできます。**[Actions(アクション)]**の(...)では、「ヘッドセット設定の編集」、「ヘッドセットの識別」、ヘッドセットの「登録解除」を実行できます。
 - a. **[+ Register Headsets(+ヘッドセットを登録)]**ボタンをクリックすると、以下のようなポップアップウィンドウが表示されます。数秒から数分以内に、(電源が入っていて、まだシステムに登録されていない)ヘッドセットのID番号が表示されます。ヘッドセットの登録が完了したら、**[Close Registration Mode(登録モードを閉じる)]**ボタンをクリックします。
 - b. **[Clear All Registration(すべての登録をクリア)]**ボタンをクリックすると、以下のようなポップアップウィンドウが表示されます。すべてのヘッドセットを登録解除する場合は、**[Yes, De-Register(はい、登録を解除します)]**をクリックして確定してください。

ヘッドセットページテーブルのフィールドの説明:

フィールド	説明
Device ID (デバイス ID)	登録済みヘッドセットのID番号
MAXIM/TI Version (MAXIM/TIバージョン)	ヘッドセットのファームウェアバージョン
Status(ステータス)	ヘッドセットのステータス - 現在の稼働日および前回の稼働日が表示されます
Assigned Lane(割り当てられたレーン)	ヘッドセットにデフォルトで割り当てられているレーン番号
Assigned Date(割り当てられた日)	ヘッドセットが初めてシステムに登録された日付
Battery Level(バッテリー残量)	ヘッドセットのバッテリー残量 (%)
Signal Strength(信号強度)	ヘッドセットの信号強度を0~100のスケールで表示。100は最良の通信範囲を意味します。

- c. **[Actions]**の(...)をクリックすることで利用可能な選択肢は以下のとおりです。
 - i. 「ヘッドセット設定の編集」:**[Assign Lane(レーンを割り当てる)]**は、選択したヘッドセットのデフォルトレーンをレーン1またはレーン2に割り当てることができます(スプリットモード用)。クロスモードの場合、ヘッドセットはデフォルトでレーン1または直前に稼働していたレーンに割り当てられます。
 - ii. スプリットモードまたはクロスモードの場合、**[Headset Button Behavior Slot1(ヘッドセットボタン動作スロット1)]**は、**[Talk 1(トーク1)]**ボタン(下側のトークボタン)をレーン1またはレーン2に割り当てることができます(デフォルトはレーン1)。**[Headset Button Behavior Slot2(ヘッドセットボタン動作スロット2)]**は、**[Talk 2(トーク2)]**ボタン(下側のトークボタン)をレーン1またはレーン2に割り当てることができます(デフォルトはレーン2)。設定が完了したら、**[Apply Changes(変更を適用)]**をクリックします。

****シングルレーンシステムでは、両方のトークボタンが自動的にレーン1に割り当てられます。**

- iii. **[Identify Headset(ヘッドセットの識別)]**: これを選択すると、対象ヘッドセットに信号が

送られ、ヘッドセットが振動を開始し、LEDが赤、緑、青に点滅します。これは、問題を引き起こしているヘッドセットを特定する場合や、特定のヘッドセットを見つけない場合（使用の優先、割り当て、保証交換のための返却など）に利用されます。使用が終わったら[**Stop(停止)**]をクリックします。

- iv. [**De-Register(登録解除)**]: 選択したヘッドセットのみを登録解除するオプションが表示されます。これは通常、トラブルシューティングのために使用され、システムメモリやヘッドセットをリフレッシュする場合、メーカー保証交換のためにユニットを返送する場合、または現在のシステム運用で不要になった場合などに利用されます。必要に応じて[**Yes, De-Register(はい、登録を解除します)**]をクリックして続行してください。

4. [**Command Console(コマンドコンソール)**]では、デバイスの「**シリアル番号**」、接続「**ステータス**」、「**最新ファームウェア**」の有無、現在の「**ファームウェアバージョン**」を確認できます。

システム設定

このセクションでは、システムの「**リビジョン**」適用状況を確認できるほか、「**診断**」情報、「**SIPステータス**」、および「**SIP設定**」を表示および取得できます。これらは、必要に応じてPARサポートや設置業者がトラブルシューティングに利用します。

1. [**Firmware Update(ファームウェア更新)**]: このセクションでは、画面下部に示されているとおり、デバイスのファームウェアを「**デバイスタイプ**」ごとに更新できます。「**更新先ファームウェア**」を選択し、「**今すぐ更新**」または「**スケジュールされた時間**」に更新を実行できます。利用可能なデバイス: ベースステーション、LAI、およびコマンドコンソール。希望するデバイスを選択後、[**Confirm(確認)**]を選択すると即時更新されます。または、その更新に対して[**Schedule Date(日付をスケジュールリング)**]と[**Schedule Time(時間をスケジュールリング)**]に入力します。さらに、以下に示されているとおり、「**スケジュールされたファームウェア更新**」、「**ファームウェア更新履歴**」も確認できます。
2. [**Reboot System(システム再起動)**]: このセクションでは、システムデバイスを再起動できます。通常は、トラブルシューティング、中断されたファームウェアの更新、または停電や電圧スパイクによりシステムデバイスの再起動が必要な場合に使用されます。ソフト再起動が可能なデバイス: ベースステーション、LAI、トランシーバー、コマンドコンソール。実行する際は、[**Reboot Now(今すぐ再起動)**]をクリックし、[**Confirm(確認)**]で確定します。
3. [**Factory Reset(工場出荷時リセット)**]: このセクションでは、Basestationをデフォルトの工場出荷時設定に戻すことができます。実行すると、ネットワーク設定を除き、設定がすべてリセットされます。この機能は、ベースステーションが破損や電源変動の影響で動作不能になった場合などに、まれに使用されます。**チェックボックスをオンにして**、[**Execute(実行)**]を選択します。このアクションを確認するためのポップアップウィンドウが表示されます。一度実行すると、元に戻すことはできません。必要に応じて[**Confirm(確認)**]をクリックして、工場出荷時設定に戻します。

トラブルシューティング

カテゴリー	症状	原因と解決方法
ヘッドセット	ヘッドセットを登録できない。	ヘッドセットの電源が入っていて、充電されたバッテリーが装着され、正しく組み立てられていることを確認してください。
ヘッドセット	ヘッドセットが起動しない。	バッテリー背面の丸いボタンを押して充電残量を確認してください。 - ライトが点灯しない場合、バッテリーを交換するか、ヘッドセットを充電ステーションに戻してください。 - ライトが点灯する場合、バッテリーを一度外してから再装着してください。
ヘッドセット	注文ポイントで顧客の声が聞こえない。	レーンからの音量が小さく聞き取れない場合は、レーンの音量を調整してください。 - 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices(音量 & デバイス)] > [Volume Settings(音量設定)] > [Select Headset Volume(ヘッドセット音量を選択)]の順にクリックします。 - 注文ポイントマイクレーン1またはレーン2を希望のレベルに調整します。
ヘッドセット	注文ポイントで、顧客にこちらの声が聞こえない。	顧客から音量が小さいと指摘された場合は、クラウド上の以下の領域でアウトバウンドトークの音量を調整してください。 - 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices(音量 & デバイス)] > [Volume Settings(音量設定)]の順にクリックします - 上部メニューから、[Lane Volume(レーン音量)]を選択し、アウトバウンドトーク(注文受付者)の音量を希望のレベルに調整します。 顧客がヘッドセットからの音声をまったく聞けない。 - ヘッドセットのマイクがミュートになっていないか確認してください。ミュート状態は、赤色LEDが点滅していることで示されます。 - ヘッドセットのLEDが赤色に点灯している場合は、背面ボタンを押して現在のレーンとの通話を終了してください。その後、ヘッドセットの[1]または[2]のボタンを押してレーンとの通話を再接続します。
ヘッドセット	ヘッドセットの電源が入らない。	Clearヘッドセットを充電器から外しても、LEDや触覚フィードバックが表示されない場合： - バッテリー下部の丸いボタンを押し、バッテリーが充電されているか確認してください。 - バッテリーのLEDが点灯し、充電済みであることを確認できたら、ヘッドセットを充電器に戻し、ヘッドセットPODおよびバッテリー側面のLEDが点灯するか確認してください。 - もう一度充電器からヘッドセットを取り外し、電源が入るか確認してください。 - それでも電源が入らない場合は、ヘッドセットのバッテリーを再装着してください。それでも電源が入らない場合、ヘッドセットが故障している可能性があります。
ヘッドセット	呼び出しコールを開始できない。	他のヘッドセットも確認し、それが特定の1台だけの問題なのか、すべてのヘッドセットで発生している問題なのかを確認してください。特定の1台のみが問題であれば、再組み立てを行い、別のバッテリーを試してください。それでも問題が解決しない場合は、サービス窓口にご連絡してください。

カテゴリー	症状	原因と解決方法
ヘッドセット	シングルレーンClearシステムで、ヘッドセットボタンを押しても通話が開始しない。	Clearシステムは複数の注文ポイントをサポートする設計になっています。各ヘッドセットは、ボタンに割り当てられたレーンを通じて通信できます。シングルレーンシステムでは、Clear Portal 内でボタン1とボタン2の両方を1つのレーンに割り当てることが可能です。 1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices (音量 & デバイス)] > [Connected Devices (接続デバイス)]の順に移動します 2. 設定を変更したいヘッドセットの[Menu (メニュー)]ボタンを選択します。 3. [Headset Button Behavior Slot 1 / Slot 2 (ヘッドセットボタン動作スロット1 / スロット2)]で、ドロップダウンから希望のレーンを設定します。
ヘッドセット	ヘッドセットボタンを押すと、間違ったレーンに応答してしまう。	Clearシステムでは、ユーザーがボタンごとにどのレーンと通信するかを割り当てることができます。ヘッドセットのボタンは、Cloud Portal から割り当てることができます。 1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices (音量 & デバイス)] > [Connected Devices (接続デバイス)]の順に移動します 2. 設定を変更したいヘッドセットの[Menu (メニュー)]ボタンを選択します。 3. [Headset Button Behavior Slot 1 / Slot 2 (ヘッドセットボタン動作スロット1 / スロット2)]で、ドロップダウンから希望のレーンを設定します。
ヘッドセット	ヘッドセットの音量を調整したい。	ヘッドセットのマスターボリュームは、本体のボタン2の上にある音量 up/down ボタンを押すことで手動調整できます。 また、詳細な音量設定はデバイスメニューから行えます。 1. [Volume & Devices (音量 & デバイス)] > [Volume Settings (音量設定)]の順に移動します 2. 上部メニューで、[Headset Volume (ヘッドセット音量)]を選択します。 • 車両アラート音量 – レーン検知通知時にヘッドセットで鳴るビーブ音の音量を調整します。 • 注文ポイントのマイク音量 レーン 1 & 2 – 注文ポイントからヘッドセットに入る音声の音量を調整します。 • 案内メッセージ – レーン検知通知時に、自動リスニングモードでヘッドセットに再生される録音済み案内メッセージの音量を調整します。 • リマインダーメッセージ – ヘッドセットに再生される、事前に録音されたリマインダーメッセージの音量を調整します。 • アラートメッセージ – ヘッドセットに再生される、事前に録音されたアラートメッセージの音量を調整します。
ヘッドセット	レーン検知時にどの通知をヘッドセットに送るかを選択したい。	選択したデバイスのメニューで、[Order Taking (注文受付)]をクリックします。[Staff Order Mode Settings (スタッフ注文モード設定)]で、ヘッドセットに受信させたい通知をカスタマイズできます。

カテゴリー	症状	原因と解決方法
バッテリー	バッテリーが充電されない。	原因: 接点の汚れ、バッテリー充電スロットの不具合、バッテリー自体の不具合 解決策: - バッテリーの接点を清掃してください - バッテリーを別のチャージャースロットに差し込んでください - すべてのバッテリーで同じ現象が起きるか確認してください。その場合、充電器の不具合、またはバッテリー充電器の電源供給が外れている可能性があります。 - 特定のスロットまたは1本のバッテリーだけが充電されない場合、そのバッテリーまたは充電スロットが故障しています。必要に応じて、バッテリーまたは充電器を交換してください。
充電器	すべてのバッテリーが充電されない。	原因: 電源アダプターの不良、またはコンセントの不良 解決策: - 正常に動作することが分かっているコンセントに充電器を差し込む - それでも充電されず、バッテリーを挿入してもLEDが点滅しない場合、電源アダプターを交換してください。 - 電源アダプターを交換しても、バッテリーを挿入した際にLEDが点滅して充電されない場合、充電器を交換してください
ベースステーション	システムがオフライン (PTIO、VDBのLEDが点灯せず、筐体を開けてもファンが動作しない)。	原因: - 電源が抜けている、または電源供給の不良 解決策: - ベースステーションの電源プラグをたどり、すべてが正しく接続され、緩んでいないか確認してください。必要に応じて再接続します。 - 電源コンセント: 配線を点検した後、別のコンセントを試してください。スマートフォンの充電器など、正常に動作する機器を差し込んで通電を確認します。必要なら別のコンセントに移動してください。 - 上記の手順を行っても電源が入らない場合は、電源アダプターを交換してください。電源アダプターを交換してもなお電源が入らない場合、ベースステーションを修理のために返送してください。
LAI	注文ポイントからの通話で音質が悪い。	ドライブスルー環境に最適でないDSPを使用している可能性があります。クラウドポータルを通じてDSPを調整できます。 1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices (音量 & デバイス)] > [Connected Devices (接続デバイス)] の順に移動します 2. 上部メニューで [LAIs (LAI)] を選択します 3. 希望のLAIに対して、[Edit LAI Settings (LAI設定を編集)] を選択します。 4. [Noise Reduction Level (ノイズ低減レベル)] (インバウンドレイン音声) で、選択したDSPモードを調整します。 注記: すべての店舗について、推奨されるDSPはZVC0です。いかなる調整も、設置業者が現場で行うことが推奨されます。

カテゴリー	症状	原因と解決方法
LAI	LAIからヘッドセットに入る音質が悪い。	DSP設定にアクセスして調整してください
メッセージ	システムが案内メッセージを店舗のレーンスピーカーで再生しているが、ヘッドセットやグリルスピーカーでは聞こえない。	ヘッドセットの場合、ヘッドセットの音量設定で案内メッセージが「オン」になっていることを確認してください。 解決策: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices (音量 & デバイス)] > [Select Headset Volume (ヘッドセット音量を選択)]の順にクリックします 2. 上部メニューで案内メッセージのチェックボックスがオンになっており、音量が適切に設定されていることを確認してください。 ヘッドセット動作が手動リスニングに設定されている。 解決策: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Order Taking (注文受付)]をクリックします。 2. [Headset Behavior (ヘッドセット動作)]で[Auto Listen (自動リスニング)]を選択します。(案内メッセージは、自動リスニングモードでのみヘッドセットに再生されます) キッチンモニターの場合、キッチンモニターの案内メッセージが「オン」になっていることを確認してください。 解決策: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices (音量 & デバイス)]をクリックします 2. 上部メニューで、[Kitchen Monitor (キッチンモニター)]を選択します 3. [Outbound Greeter Messages (アウトバウンド案内メッセージ)]のボックスがオンになっており、音量が適切に設定されていることを確認してください。

カテゴリー	症状	原因と解決方法
メッセージ	システムがヘッドセットやキッチンモニターにリマインダーメッセージを再生しない。	ヘッドセットの場合、ヘッドセットの音量設定でリマインダーメッセージが「オン」になっていることを確認してください。 解決策: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices (音量 & デバイス)]をクリックします 2. 上部メニューで、[Headset Volume (ヘッドセット音量)]を選択します 3. [Reminder Messages (リマインダーメッセージ)]のボックスがオンになっており、音量が適切に設定されていることを確認してください。 キッチンモニターの場合、キッチンモニターのリマインダーメッセージが「オン」になっていることを確認してください。 解決策: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices (音量 & デバイス)]をクリックします 2. 上部メニューで、[Kitchen Monitor (キッチンモニター)]を選択します 3. [Reminder Messages (リマインダーメッセージ)]のボックスがオンになっており、音量が適切に設定されていることを確認してください。 リマインダーメッセージが録音されていない。 解決策: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Messaging (メッセージング)]をクリックします。 2. サブメニューで、[Messages (メッセージ)]を選択します。 3. 録音したいメッセージ(1~16)を選択し、右側の(...)メニューボタンをクリックして[Edit (編集)]をクリックします。 4. [Message Audio Clip (メッセージオーディオクリップ)]セクションで、メッセージの再生時間を確認します。クリップの表示が0:00 / 0:00の場合、メッセージは録音されていません。 5. [Update Audio Clip (オーディオクリップを更新)]ボタンをクリックして、新しいメッセージを録音します。 誤ったメッセージタイプが選択されている。 解決策

カテゴリー	症状	原因と解決方法
		1. 選択したデバイスのメニューで、[Messaging (メッセージング)]をクリックします。 2. サブメニューで、[Messages (メッセージ)]を選択します。 3. メッセージ(1~16)を選択し、右側の(...)メニューボタンをクリックして[Edit (編集)]をクリックします。 4. [Type(タイプ)]で、リマインダーが選択されていることを確認してください。
メッセージ	システムがヘッドセットやキッチンモニターにアラートメッセージを再生しない。	ヘッドセットの場合、ヘッドセットの音量設定でアラートメッセージが「オン」になっていることを確認してください。 解決策: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices (音量 & デバイス)]をクリックします 2. 上部メニューで、[Headset Volume (ヘッドセット音量)]を選択します 3. [Alert Messages (アラートメッセージ)]のボックスがオンになっており、音量が適切に設定されていることを確認してください。 キッチンモニターの場合、キッチンモニターのアラートメッセージが「オン」になっていることを確認してください。 解決策: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices (音量 & デバイス)]をクリックします 2. 上部メニューで、[Kitchen Monitor (キッチンモニター)]を選択します 3. [Alert Messages (アラートメッセージ)]のボックスがオンになっており、音量が適切に設定されていることを確認してください。 リマインダーメッセージが録音されていない。 解決策: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Messaging (メッセージング)]をクリックします。 2. サブメニューで、[Messages (メッセージ)]を選択します。 3. 録音したいメッセージ(1~16)を選択し、右側の(...)メニュー

カテゴリー	症状	原因と解決方法
		ボタンをクリックして[Edit(編集)]をクリックします。 4. [Message Audio Clip(メッセージオーディオクリップ)]セクションで、メッセージの再生時間を確認します。クリップの表示が0:00 / 0:00の場合、メッセージは録音されていません。 5. [Update Audio Clip(オーディオクリップを更新)]ボタンをクリックして、新しいメッセージを録音します。
		誤ったメッセージタイプが選択されている。 解決策 1. 選択したデバイスのメニューで、[Messaging(メッセージング)]をクリックします。 2. サブメニューで、[Messages(メッセージ)]を選択します。 3. メッセージ(1~16)を選択し、右側の(...)メニューボタンをクリックして[Edit(編集)]をクリックします。 4. [Type(タイプ)]で、アラートが選択されていることを確認してください。

カテゴリー	症状	原因と解決方法
メッセージ	システムが、不要なときに案内メッセージを繰り返し再生してしまう。	1. 選択したデバイスのメニューで、[Messaging (メッセージング)]をクリックします。 2. サブメニューで、[Messages (メッセージ)]を選択します。 3. 繰り返し再生されているメッセージの[Menu (メニュー)]ボタンを選択します 4. 繰り返し回数の値は、メッセージの繰り返し回数を制御します。「0」は 繰り返しなし、「1」は最初の案内メッセージを再生し、1回繰り返します。
メッセージ	案内メッセージの音量が小さすぎる。音量を上げるにはどうすればよいですか？	1. 選択したデバイスのメニューで、[Messaging (メッセージング)]をクリックします 2. [Volume & Devices (音量 & デバイス)] > [Volume Settings (音量設定)]の順に選択します 3. 上部メニューで、[Headset (ヘッドセット)]を選択します 4. [Relative Volume Controls (相対音量調整)]で、案内メッセージを希望の音量に設定します。
ネットワーキング	Cloud Portal に "Disconnected" と表示される	原因: Basestationに有効なインターネット接続がない。 解決策: 1. 有効なインターネット接続のあるLANケーブルがLAN 2に接続されているか確認します。 2. LANケーブルをLAN 2に挿し直します。 3. Basestationを再起動します。 4. 静的ネットワークを使用している場合は、IPアドレスの競合がないか確認します。
ネットワーキング	LAI がCloud Portal に接続されない。	原因: LAI がベースステーションと通信していない。 解決策: 1. LAI がPoEによって給電され、電源が入っていることを確認します(フロントパネルのLEDで確認可能)。 2. 静的ネットワークを使用している場合、IPアドレスの競合がないことを確認します。 3. 静的ネットワークを使用している場合は、IPアドレスの競合がないか確認します。 4. LAI の電源を再投入します。
ネットワーキング	コマンドコンソールにダッシュボードが表示されない。	原因: コマンドコンソールがベースステーションと通信していない。 解決策: 1. コマンドコンソールのLANケーブルがRJ-45 LANポートに接続されているか確認します(RJ-45 シリアルポートではありません)。 2. コマンドコンソールがベースステーションのLAN 2 NICと同じLAN に接続されていることを確認します。 3. 静的ネットワークを使用している場合は、IPアドレスの競合がないか確認します。 4. コマンドコンソールの電源を再投入します。

カテゴリー	症状	原因と解決方法
ネットワーキング	LAIが起動しない。	原因: PoE電源からLAIに電力が供給されていない 解決策: 1. LAIがPoE電源供給源(PoEインジェクター、PoEスイッチ)に接続されていることを確認します。 2. PoEの電源がオンになっていることを確認します。 3. PoE電源が実際に電力を供給していることを確認します。
システム	昨夜停電があり、何も動作していない。	原因: 電源サージ、サージプロテクターの作動、ブレーカーの作動。 解決策: - ベースステーションの電源接続を確認してください。 - サージプロテクターに接続されていますか？ - サージプロテクターのスイッチが作動している場合は、リセットしてください。 - 別のコンセントを試してください。 - ブレーカーを確認してください。 - 店内の他のデバイスは動作していますか？ それでも解決しない場合は、電気技師に連絡して現場で点検してもらう必要があります。
システム	システムが「オン」になっていて、電源が抜けていないことを確認するには？	解決策: - ベースステーションを開き、電源コネクタ付近のLED、PTIO LED、VDB LEDが点灯しているかどうか確認してください。 - LEDがすべて消灯している場合、ベースステーションはオフになっています。 - 電源ケーブルの配線を確認し、コンセントが正常に動作していることを確認してください。 - DT Cloud にアクセスし、[Devices(デバイス)]に移動してベースステーション名を探し、ステータス列に「Connected(接続済み)」と表示されているかどうか確認してください。
システム	コマンドコンソールに何も表示されない。	原因: コマンドコンソールに電源が供給されていない、電源が入っていない、またはコネクタが接続されていない。 解決策: - コマンドコンソールの電源を確認してください。コンセントが正常に動作し、プラグが奥までしっかり差し込まれていることを確認してください。コマンドコンソール下部の電源プッシュボタンを押してください。 - それでも動作しない場合は、電源アダプターを交換してください。 - 電源アダプターを交換しても動作しない場合は、コマンドコンソールユニットを交換してください。
システム	夜間音量を設定するには？	1. 選択したデバイスのメニューで、[Volume & Devices(音量 & デバイス)] > [Volume Settings(音量設定)]の順に移動します。 2. 上部メニューで、[Lane Volume(レーン音量)]を選択します 3. 夜間のスピーカー音量を希望のレベルに調整します。 注記: 夜間音量設定では、夜間のスピーカー音量が機能するためのトリガーとして店舗営業時間を設定する必要があります。店舗営業時間を設定するには: 1. 選択したデバイスのメニューで、[Site Settings(サイトの設定)] > [Ste Hours(サイトの営業時間)]の順に移動します 2. 希望の日のメニューを選択します

カテゴリー	症状	原因と解決方法
		3. [Begin/End Night Volume(夜間音量開始／終了)]を希望の時刻に設定します。 <i>([Bulk Update (一括更新)]ボタンを使用すると、複数の日を一度に設定できます。)</i>
車両検知	特定のレーンで車両検知が機能しない。	レーン検知デバイスにハードウェア障害が発生した場合、Clearには「常時オン」という緊急フェイルバックモードがあります。このモードでは注文ポイントとの通話が常時オープンになり、注文受付者は顧客と直接通信できます。常時オンを設定するには： 1. 選択したデバイスのメニューで、[Order Taking(注文受付)]を選択します 2. [Headset Behavior(ヘッドセット動作)]ドロップダウンメニューから「常時オン」を選択し、[Apply Changes(変更を適用)]をクリックします。
車両検知	すべてのレーンで車両検知が機能しない。	原因： VDBからPTIOコネクターへの配線が不良または緩んでいる、またはVDBが故障している。 解決策： - 配線を確認し、必要に応じて配線し直してください - ベースステーションを開き、車両が到着した際にVDBの赤色LEDが点灯するかどうか確認してください。 - 外部ループからVDBへの接続を確認してください。 - VDBのリセットボタンを押して、VDBをリセットしてください。 - 接続が正しいのにVDBのLEDが点灯しない場合は、VDBが故障しているため交換が必要です。
車両検知	すべてのヘッドセットで車両検知が動作しない。	個々のヘッドセットに対するレーン通知設定はできません。特定のヘッドセットがレーン通知を受信していない場合、そのヘッドセットの交換が必要になる可能性があります。

カテゴリー	症状	原因と解決方法
車両検知	注文ポイントで、特定の時間帯に閉店アナウンスを設定するには？	閉店メッセージを利用するには、営業時間を希望の時間帯に設定し、さらにメッセージ自体を設定する必要があります。 閉店メッセージを利用するには： 1. 選択したデバイスのメニューから、[Messaging(メッセージング)] > [Messages(メッセージ)]の順に移動します。 2. [Messages(メッセージ)]ページで、[Add New Message(新しいメッセージを追加)]または[Edit an Existing Message(既存のメッセージを編集)]をクリックします。 3. メッセージタイプがCLOSED(閉店)に設定されていることを確認します。 4. 新しく作成したメッセージの場合は、一度保存してから再度編集します。 5. メッセージが有効化され、再生時間を制御するデイパートが選択されていることを確認してください。 デイパートを設定するには： 1. 選択したデバイスのメニューから、[Messaging(メッセージング)] > [Message Dayparts(メッセージデイパート)]に移動します。 2. 新しいデイパートを追加するか、既存のデイパートを編集します。 3. 開始時刻には閉店メッセージの再生を開始したい時刻を設定し、終了時刻には再生を停止したい時刻を設定します。

保証、限定的救済、および免責事項

PARは、そのインターコム製品が出荷日から製品資料に記載された期間、PARまたはその正規販売代理店から購入者に出荷された日以降、材料および製造上の欠陥がないことを保証します。PARは、商品性や特定目的への適合性を含め、それ以外の明示または黙示の保証を一切行いません。

PARインターコム製品が本保証に適合しない場合、唯一かつ排他的な救済手段は、PARの裁量により、当該製品の修理または交換、もしくは購入価格の払い戻しとします。ただし、本保証は以下を対象としません。(1) 修理のためにPARへの製品の発送および返送にかかる費用、(2) 既存のケーブルや配線の修理または交換、(3) 誤用、乱用、不適切な設置、または承認されていない改造によって生じた製品の故障、(4) PAR が認可していない業者によって設置またはサービスされたインターコム製品。保証サービスを受けるには、正規PAR販売代理店、またはParTech, Inc. 8383 Seneca Turnpike New Hartford, Ny 13413 (電話: (315) 738-0600) までお問い合わせください。

責任の制限

法令で禁止されている場合を除き、PARはそのインターコム製品に起因する損失または損害について、直接的、間接的、特別、付随的、結果的損害を問わず、いかなる法的理論に基づいても責任を負いません。

FCCコンプライアンスステートメント

本機器はテストの結果、FCC規則第15条に基づくClass Aデジタル機器の規定に適合していることが確認されています。これらの規定は、本機器を商業環境で運用する際に有害な干渉から合理的に保護することを目的としています。本機器は無線周波数エネルギーを発生、利用、放射することがあり、取扱説明書に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。本機器を住宅環境で使用すると有害な干渉を引き起こす可能性が高く、その場合、ユーザーは自己の負担で干渉を解消する必要があります。

本デバイスは、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は以下の2つの条件の対象となります。

1. 本デバイスは有害な干渉を発生させてはならない。
2. 本デバイスは、望ましくない動作を生じさせる可能性のある干渉を含め、受信するあらゆる干渉を許容しなければならない。コンプライアンスの責任を持つ当事者が明示的に承認していない変更や改造は、ユーザーの機器を操作する権限を無効にする可能性があることに留意してください。

コンプライアンスの責任を持つ当事者が明示的に承認していない変更や改造は、ユーザーの機器を操作する権限を無効にする可能性があります。

ISED非干渉免責事項

本デバイスには、イノベーション・科学・経済開発省(カナダ)のライセンス免除規格RSSに準拠したライセンス免除の送信機/受信機が含まれています。動作は以下の2つの条件の対象となります。

- (1) 本デバイスは干渉を発生させてはならない。
- (2) 本デバイスは、装置の望ましくない動作を生じさせる可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を許容しなければならない。

本デバイスは、カナダのICES-003クラスA仕様に準拠しています。CAN ICES-003(B) / NMB-003 (A)

免責事項: 本資料は、広範なレストラン業態に対応するように作成されており、特定の事業の慣行やシステム構成は本資料の内容とは若干異なる可能性があります。ParTech, Inc. (以下「PAR」) は、資料の正確性を確保するために多大な注意を払っていますが、あらゆる資料は「現状のまま」提供され、商品適格性の保証や特定目的適合性の保証を含むがこれらに限らず、明示的または黙示的な保証は一切いたしません。PARは、資料がユーザーの要件を満たすこと、あるいはハードウェアが中断なく、またはエラーなく動作することを保証したり、そのような表現をしたりすることはありません。

商標に関する通知: PARのロゴはParTech, Inc.の親会社であるPAR Technology Corporationまたはその関連会社の商標です。本資料で使用されているその他のすべての製品名は、各社の商標です。そのような商標の使用は、それらの企業の承認やその他関係を示すことを意図するものではありません。

複製: Copyright © 2025 ParTech, Inc. All rights reserved. 本資料またはその一部を、ParTech, Inc. (PAR Technology Park, 8383 Seneca Turnpike, New Hartford, NY 13413-4991 USA) の事前の書面による許可なしに、電子的または機械的にあらゆる形態または手段によって複製または伝送すること(複写、記録、情報検索システムによる保存、その他を含む)を禁じます。

改訂履歴

改訂	日付	変更の説明
A	2025年2月6日	初回リリース
B	2025年3月19日	フォーマットの更新